



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

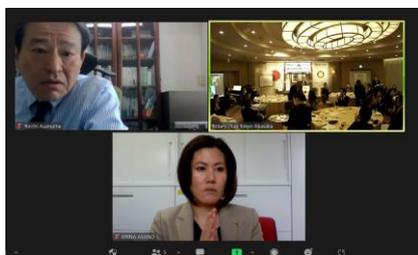


本日の例会：2021 年 11 月 26 日 通算 1617 回 本年度 第 18 回

卓話：「野球で考える日米文化論」スポーツキャスター 青島 健太 氏

- 第 1616 回 例会報告 / 2021 年 11 月 19 日
- 出席報告：会員 52 名 出席 25 名 (内 ZOOM 3 名)
- ビジター：麻生誠 (福岡 RC) 計 1 名 (敬称略)

第 3 回クラブ協議会「35 周年記念について」



11月 19日 13件 26,000円 累計 508,000円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

河邊幸夫/岩上義明/石井謙次/土屋東一/吉岡琢磨/熊本誠司/コンシニ/藤井万博/長谷川毅/谷口友保/森本勝好/日高利美/大城正裕

	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内容
今後の予定	12月 3日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会	卓話：国連大学協力会 常務理事兼事務局長 森 茜 氏
	12月 10日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会	卓話：参議院議員 片山 さつき 氏
	12月 15日 (水)	18:00	B1F ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	35周年 式典	35周年式典・祝賀会
	12月 24日 12月 31日		休 会		
	2022年 1月 7日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会	「新春落語」 三遊亭円楽 師匠
	1月 14日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会	卓話：地区奉仕プロジェクト委員長 西澤 民夫 氏

「多様性・公平さ・インクルージョン（包摂）」をローターアクターが推進

「多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）」シリーズ第2回

寄稿者：ジャーネル・グリーン（Cupertino ロータリークラブ、Silicon Valley ローターアクトクラブ会員、Big West ローターアクト多地区合同情報組織 代表）

ちょっとした連想ゲームをしてみましょう。私はアメリカ人です。そう聞いて、皆さんは私についてどんなことを想定しますか？

私の両親はフィリピンからの移民です。こう聞いて、その想定が変わったでしょうか。

私たちは無意識に、ほとんど知らない人について思い込みをします。誰でも、多少の偏見を持っているものです。そのように社会から教えられているからです。実際、私が住む社会でそうであるように、肌の色が薄いのが普遍的な美であると、どのようにして定義づけられてしまったのでしょうか。しかし、私たちはこれを変えることができます。意識を高めさえすれば、このような考えに立ち向かうことができます。自己防衛に走るのではなく、世界に対する人びとの見方が変わってきていることを認め、この新たな認識を行動に反映させていく必要があります。

「多様性・公平さ・インクルージョン（DEI=Diversity, Equity, and Inclusion）」に関する私の旅は、数年前、職場で研修を受けたときに始まりました（それまで、自分にそのような研修が必要だとは思っていませんでした）。そこで、「無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）」について知り、自分が無意識に、しかも意図せずにはほかの人を傷つけていたかもしれないことに、戸惑いを感じました。

これをきっかけに、DEIについて、またそれをどう支援できるかを、自分なりに学び始めました。「アメリカで生まれ“アメリカ人”の国籍を持つ」、「出生証明書に記載された性と自認するジェンダーが同じである」、「大学教育を受けている」など、私は恵まれていると感じています。こうした恩恵を生かして、抑圧された人たち、社会の隅に追いやられた人々を助けたいと思ったのです。

そんな時、米国ミネアポリス州でジョージ・フロイドさんが殺された動画が世界に配信されて話題となり、人種間の平等を訴える声が一気に高まりました。Big West ローターアクト多地区合同情報組織（BWR）でも、組織内での行動につながるような持続可能な変化を生むために、何時間もかけて独自の Black Lives Matter の声明を作成し、これに則って行動することを誓いました。

声明の作成は、実行の最初のステップにすぎませんでした。BWR では、地域社会やクラブに制度として存在する人種差別について話し合うオープンフォーラムを毎月開催しています。また、BIPOC（Black, Indigenous, and People of Color [黒人、先住民、有色人]）のコミュニティを対象に、「BIPOC フォーラム」という大イベントも開催し、参加者が体験を語り合う機会としました。リーダーシップ研修の一環として DEI セッションも実施し、クラブと地区で DEI に取り組むローターアクター向け資料を作成する委員会も立ち上げました。

このトピックは重要であり、Big West ローターアクトよりもずっと大きな問題です。世界中のローターアクターにどのように働きかけられるかと思ひ、2019 年後半、Surrey-Newton ローターアクトクラブ（カナダ）に所属するアリア・アリ（Alia Ali）さんとともに、DEI の支援方法に関する研修をローターアクト大会前会議で共同開催する申請を提出しました。その後、2020 年 6 月頃には世界中で緊張が高まっており、そのような研修の重要性が想像以上に高いことを認識しました。史上初の「ローターアクト大会後会議」など、世界がバーチャル（オンライン）に移行する中、私たちはすべての視聴者に対してロータリー内での DEI の取り組みに関するメッセージを届ける貴重な機会を得ることができました。

クラブで、地域社会で、そして自分自身の中でなすべきことはたくさんあります。この取り組みに終わりはないでしょうし、継続的に成長していく機会だと考えています。DEI について研修しても、ロータリー内外で誰かと話すときなど、生活のあらゆる場面で DEI を実践することが大切なのです。また、DEI の研修に出席するのは、通常、既に DEI について考えている人たちです。DEI の問題の存在すら気づいていない人たちに、どうやって参加してもらうことができるのでしょうか。ソーシャルメディアでハッシュタグがトレンドではなくなった後、どうやって変化を起こし続けていけるのでしょうか。



あきらめることなく、必要なことを実行していくのみです。この取り組みを日々、自分の中で、また仕事や生活の中で、人が見ていようと見ていなかろうと、実践していくことを私たちは約束します。

2019 年 10 月に米国シカゴでロータリー主催により開催された「多様性・公平さ・インクルージョン」に関するパネルディスカッションの出席者たち

世界に対する人びとの見方が変わってきていることを認め、この新たな認識を行動に反映させていく必要があります
ジャーネル・グリーン（ロータリアン、ローターアクター）